（様式１）

学校番号　（小・(中)　　）

令和７年度　学校運営協議会自己評価表

浜松市立（　東陽中　）学校運営協議会長

＜本年度の目標＞

２期目の学校運営協議会として、これまでの協議会の取組を踏まえつつ、職場体験学習支援などの学校のサポートをすべく熟議を活性化させたい。実施が迫っている「部活動への地域移行」、「不登校生徒への取組」、「教室に入れない子の対応」について、支援可能な対策や学校の諸活動に協力・取組ができるような実践的な組織づくりや人材確保について熟議していきたい。

＜評価項目１＞　学校運営の基本方針について熟議することができたか。

⇒ (ア)　よくできた　　イ　できた　　ウ　あまりできなかった　　エ　できなかった

（理由）

基本方針が、第４次浜松市総合教育計画をベースに東陽中のこれまでの教育実践を踏まえつつ、現代的な課題を盛り込む等の工夫がなされていることがよく理解できるとの意見が多数だされた。内容が整理され、論点が絞り込まれている点を評価する意見も多かった。部活動地域展開及び個別支援が必要な生徒への取組は、今後とも熟議が必要であると考えられる。

＜評価項目２＞　承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

⇒　ア　よくできた　(イ)　できた　　ウ　あまりできなかった　　エ　できなかった

（理由）

いじめ防止基本方針、キャリア教育「職場体験」及び部活動地域展開等を担当教諭から説明を聞くことで生徒や教員の日頃の活動を実感することができ、認識を深める機会となった。

部活動地域展開については、学校から進捗状況を聞きながら熟議ができているが、生徒・保護者・地域にその趣旨が十分に伝わり、理解が得られるか懸念する意見も出された。

＜評価項目３＞　協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

⇒　ア　充分に行った　(イ)　行った　　ウ　あまり行わなかった　　エ　行わなかった

（理由）

学校便り・学級便り・保健室便り等の学校からの発信に加え、協議会としての情報発信を「コミスク便り」によって適時適切に行っているが、まだまだ保護者の認知度が低いことを考えると発行回数・発信内容の見直しを図りたい。また、発信する内容を充実させるためにも、協議会活動の一層の活性化が必要であるという意見も出された。

＜評価項目４＞　今年度の評価を踏まえた来年度の目標

引き続き、「職場体験学習支援」等の学校のサポートをすべく熟議を活性化させたい。また、「部活動の地域展開」について協議会として見守りつつも、どのように関与すべきか学校の求めに応じて熟議を深めていきたい。「不登校生徒への取組」、「教室に入れない子の対応」について、支援可能な対策や学校の諸活動に協力・取組ができるような組織づくりや人材確保について熟議を継続しつつ、「今の中学生が抱える問題」についても熟議していきたい。全国学調の結果に関する詳細の説明があったが、学力や点数について直接関与することは難しいが、学校の取組を含め今後の推移を見守っていきたい。